



千地申第6号

「空港第2ビル駅の運営体制変更」に関する団体交渉を行う！その①

1. 2014年度申10号にて実施してきた空港第2ビル駅のVTSへの業務移管について成果と課題を明らかにすること。

(会社回答)

空港第2ビル駅の(株)びゅうトラベルサービスへの業務委託については、増加した訪日外国人の対応ならびにグループ一体となった柔軟な駅業務体制の構築を目的に、実施してきたところであり、一定の成果があったと認識しているところである。

(交渉の特徴点)

(組合) 提案された当時から、VTSに駅業務の運営が本当に出来るのかという中で始まり、現場は非常に苦労した。この間の成果と課題は？

(会社) 成果としては、大勢のインバウンドのお客さま対応ができるようになった。課題としては、VTSの進む方向性が変わった。旅行業はIT化が進んで厳しい。そこに特化するため、業務委託を解消したいと申し出があった。

(組合) この状況からすると、2020オリパラ後にはVTSからJESSへ委託先を変更する考えがあったのでは？

(会社) 変更する考えもあった。

(組合) となると、開催が延期となった今、やるべきなのか？この間、VTSが積み上げてきたものが無駄になる。

(会社) そこも検討したが、2020年12月1日に実施できると判断した。

2. 空港第2ビル駅の駅業務の運営を、VTSからJESSへ変更する根拠を明らかにすること。また、本施策では従来の課題を克服した施策とすること。

(会社回答)

今後一層厳しさを増す経営環境の中で、グループ会社で行ってきた水平分業をさらに深度化し、効率的な業務執行体制を構築していくため、(株)JR東日本ステーションサービスに委託会社を変更することとした。

(交渉の特徴点)

(組合) VTSからJR本体に戻す考えはなかったのか？

(会社) **2ビルは業務委託で運営できる箇所という認識のため、ない。**

(組合) 効率的な業務執行体制を構築していくためとあるが、それは訪旅セと駅業務が一体となった運用なのではないか？そのような議論をしてVTSに委託した。

(会社) 当時はそれが効率的であったが、状況が変わり**採用面や広範的な運用がVTSよりもできるJESSに委託先を変更する判断をした。**

(組合) JESSにとっては委託して間もない状態でオリパラを迎えることが厳しいのではないかと？

(会社) JESS本社や支店でサポートする体制がある。JR本体もサポートしていく考えである。

(組合) 訪旅セは今後どうなるのか？

(会社) 今のところ変える考えはないと聞いている。

3. JESSが新たに空港第2ビル駅の運営を受託するにあたり、要員数や運営体制を明らかにすること。また、運営にあたっては年休付与ができるようなゆとりがある業務執行体制とすること。

(会社回答)

業務執行体制については、業務委託会社にて定めることとなる。

(交渉の特徴点)

(組合) 要員数や運営体制を変更する考えはあるのか？

(会社) **今のところ、変更する考えはないと聞いている。**

(組合) ブロックの変更はあるのか？

(会社) ブロックの変更を検討する話は聞いている。

(組合) 本体で言うサービスマネージャーの役割を持った社員をJESSでも置くのか？

(会社) 現行VTSでもテンポラリースタッフで対応しており、JESSにおいても同様のスタッフを配置していく考えは聞いている。なお**担当する業務はVTSと変わらない。**

(組合) 今現在、年休がなかなか入らないという声があるので解消すること。

(会社) そのような声があることをJESSに伝える。

その②へ



千地申第6号

「空港第2ビル駅の運営体制変更」に関する団体交渉を行う！その②

4. 現在、空港第2ビル駅に出向している社員、VTSのプロパー社員の取り扱いについて明らかにすること。なお、本施策に伴い社員の異動が発生する場合は、目的を丁寧に説明し希望を把握した上で本人希望を尊重すること。また、異動に関して無理な懇請は行わないこと。

(会社回答)

社員の異動については、任用の基準に則り取り扱っているところであり、社員の希望等については個人面談等で前広に把握しているところである。

(交渉の特徴点)

(組合) 2ビルにいるJRからの出向社員の人数を明らかにすること。

(会社) 出向社員は10人いないぐらい。(2ビル全体の1/3程度)

(組合) JESSに教育するためにVTSから出向替えをする社員もいるのか？

(会社) そのような事も検討しているが、まだ本人の希望等も把握していないため、今後決定していく。

(組合) 委託から5年経過しているが、長い人でどのぐらいの期間出向しているのか？

(会社) 長い人で4年程度。本人の希望もある。

(組合) 新たにJESSへ教育することとなるが、「教育が終わらないので帰れない」とはならないか？

(会社) 教育を終えるために、一定程度残ってもらうことはあり得る。いつまでも帰れない環境はつくらないようにする。

5. 新たに空港第2ビル駅の運営を担う、JESSへの教育内容を明らかにすると共に、本人の不安がなくなるまで十分に行うこと。

(会社回答)

必要な教育・訓練は実施すると認識している。

(交渉の特徴点)

(組合) 2ビルの業務を受託するにあたり、教育はどのように受けるのか？

(会社) 10月からすでに10名程度が2ビルで実習を受けている。

(組合) 本人の不安がなくなるまで十分に教育を行うこと。

(会社) ご利用状況が少なく、業務に余裕が生じている。そのため、教育に充てられる時間が今はある。

(組合) JESSでは2ビルに限らず助勤に対して不安を感じているとの声が多くある。不安なく業務出来るようにすること。また、助勤の実態について明らかにすること。

(会社) 丁寧に教育を行っていると考えている。管区内であればブロック外の駅に行くこともある。管区外に助勤に行くことはまずないと聞いている。

6. 本施策を実施する場合、制服の採寸など個人貸与品の準備を丁寧に行い、社員のモチベーションを高めること。また、バックヤードを整備・改善し、社員が働きがいの持てる環境とすること。

(会社回答)

これまでも必要な準備は実施しており、職場環境の整備についても引き続き社員の意見等を踏まえながら実施していく考えである。

(交渉の特徴点)

(組合) 制服の採寸や貸与品の準備は実施前に整えること。

(会社) 了解。

(組合) ポケットクや翻訳アプリなど、外国語対応に活用するものは導入するのか？

(会社) ポケットクは個人貸与を求める声もあり検討していると聞いている。JR本体からJESSへ貸与しているJoi-Tabでは本体と同様のアプリを活用することができる。

(組合) この機会にバックヤードを改善すること。

(会社) 最近、改善したところである。

7. 施策実施後に検証を行い、問題等が生じた際は労使で協議すること。

(会社回答)

具体的な提起がある場合は「労使間の取り扱いに関する協約(平成30年10月1日締結)」に則り取り扱っていく。

不安を解消し働きやすい職場にするため、検証を行ってまいります！